

お鍬山 植物たより (H28. 3. 14)



オオイヌノフグリ

お鍬山でもウグイスが鳴き始めました。春告鳥といわれています。春は近いようです。野草も咲き出しています。オオイヌノフグリ・ホトケノザ・ヒメオドリコソウは放置しておくとも畑を我が物顔に占領する嫌われものです。お鍬山でも各所でこれらを見る事



タラノキ
(冬芽と葉痕)

ができます。(H27.3.22 掲載) 物置の近く、豊田高校との境界沿いにオオイヌノフグリが群生していました。よく見ればルリ色のかわいい小花です。タラノキが冬芽をつけています。もうすぐ芽吹く若芽は山菜として利用されます。近頃は市販されています。お鍬山では各所で自生しています。荒地に生えるといわれていますが、お鍬山も遊歩道を造成したときは一斉に生えました。遊歩道沿いは歩くのに支障があるので伐採してしまいました。U字形で枝を3/4周している葉痕も見えます。

マキノスミレが南側の日当たりのよい遊歩道沿いに一輪咲いていました。山地ややせた丘陵に生える多年草のようです。これからは県道などの歩道でもよく見かけます。タネツケバナが上流堰堤に咲いていました。水田のあぜ、水辺の湿地などに生える越年草です。下流堰堤下の広場には群生しています。農道沿いの散歩で見かける常連の野草(雑草)です。

◎「お鍬山 植物たより」は今号で休止します。



マキノスミレ



タネツケバナ